

# 減災のための目標(案)について

## 減災のための目標(案)

### ■5年間(平成32年度目処)で達成すべき目標(案)

岩木川において、甚大な被害が発生した昭和52年8月洪水や、近年では平成25年9月洪水及び平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、岩木川で発生しうる拡散型氾濫による大規模水害に対して『避難する・被害を防ぐ・水防災意識向上を図る』ことにより、関係機関及び隣接する市町村が連携し地域を越えた避難行動につなげ氾濫被害の最小化を目指す。

- 避難するとは……地域住民が主体的に水害リスクを把握し、避難につながる、住民目線のソフト対策が必要です。
- 被害を防ぐとは……地域の水防力向上を図り、氾濫被害の防止や軽減、堤防決壊を少しでも遅らせ避難のための時間を稼ぐことや浸水した際の早期の排水が必要です。
- 水防災意識向上を図るとは……「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との意識を持ち、社会全体で洪水氾濫に備えることが必要です。

# 減災のための目標(案)

## ■ 目標達成に向けた3本柱の取組

目標達成に向け、洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、岩木川において以下の3本柱の取組を実施する。

1. 住民の主体的で安全な避難行動を促すリスクコミュニケーション・地域を越えた避難行動
2. 発災時に人命と財産を守る水防活動及び排水活動
3. 水害に関する知識の向上と心構えの醸成



# 避難行動を促すための取り組み事例

避難

- ・雨量・水位等の避難行動のきっかけとなるリアルタイムの情報提供
- ・急激で同時多発的な水位上昇等のリアルタイムな情報共有

## <課題>

- ・住民へ適切かつ確実な情報伝達する体制や方法の改善が必要
- ・個別に整備してきた情報は、緊急時に各々を照らし合わせて見る必要があるほか、そもそも**認知度が低い**。

浸水想定区域図

危険箇所

何かいい情報の集約方法はないかな・・・

ホットライン

CCTV画像

気象データ

タイムライン

水位観測データ

流量観測データ

## ◆「川の防災情報」リニューアルの普及促進

○住民自らが避難に必要な情報をいち早く入手し、水害リスクを察知して主体的に避難して頂けるよう、機能追加・サイト構成の抜本見直し。

大雨時の川のはん濇の危険性を知らせる

**国土交通省 川の防災情報**

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

PC版

スマホ版

新たに提供開始!

住民の方々が自らははん濇の危険性を知り、的確な避難行動などに役立つように、利用者目線に立った新しい「川の防災情報」がはじまります!

■あなたが住んでいる場所の氾濫の危険性を知る事ができます。

2016年5月29日(日) 馬淵川・高瀬川 総合水防演習

記者発表

新着情報

川川防災情報ポータルサイト



【アクセスURL】 [1]PC版 <http://www.river.go.jp/> [2]スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>

# 水防活動の強化に係る取り組み事例

水防

## ・水防活動の効率化及び水防体制の強化等

### ◆重要水防箇所合同巡視の実施



【H27.5 五所川原市 重要水防合同巡視】



【H27.5 藤崎町 重要水防合同巡視】

合同巡視の実施状況

※今後の合同巡視では  
住民等を交えて実施

### ◆「避難を促す緊急行動」として 実施した住民参加型の共同点検



【H27.11 五所川原市 共同点検状況】



【H27.11 藤崎町共同点検状況】

地域住民を支援する緊急行動の実施状況 4

# 水害に関する知識の向上のための取り組み事例

知識向上

- ・災害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の拡充



説明状況  
堤防決壊のメカニズムについて



受講者の様子  
(参加者：小学生～年配者まで)

本年9月の関東・東北地方で記録的大雨となった「関東・東北豪雨災害」、平成25年9月の台風18号等の過去の「岩木川の出水」を災害例として取り上げ、「防災・減災に向けた取組」や「地域と一体となった防災体制」などについて出前講座を実施。



※講座資料より

過去の岩木川の洪水状況の写真を  
大型スクリーンを使って紹介(昭和33年8月洪水)

平成27年11月23日(月)、鶴田町山道町内会の皆さん約40名が、鶴田町山道文化センターにて「防災(河川の洪水)対策」と題した出前講座を受講。